

## まちのできごと

### おおとよ宅配サービスが始まりました

「近くにスーパーがない」「車を運転しないから買い物に行けない」など、日常生活で買い物に不便を感じている高齢者の方が社会問題になっています。

大豊町も、もちろん例外ではありません。

過疎高齢化が進むなか、山村でも安心安全で穏やかな暮らしができるように、大豊町商工会が11月1日から「おおとよ宅配サービス」を始め、それに伴う町内高齢者等の見守り支援協定書締結式が行われました。

「おおとよ宅配サービス」とは、町内取扱店に電話またはファックスで注文（1000円以上注文、宅配手数料150円）すれば、ヤマト運輸さんが届けてくれるもので、お届け先のお客さまの体調が悪い場合は、役場または消防署へ連絡する見守り支援も行います。

ヤマト運輸のドライバーさんは、「お客さまと十分コミュニケーションをとって配達したい」と話していました。



### 街路灯寄贈していただきました



10月30日、四国電力様から明るい街づくりへの取り組みの一環として、目付と津家に街路灯を寄贈していただきました。

ありがとうございました。

### 交通栄誉章緑十字銅章受章



11月13日、交通安全高知県民大会が行われ、交通安全協会本山支部で約20年間、地域の交通安全活動に尽力されてきた前田邦明（川口南）さんが、交通栄誉章緑十字銅章を受章されました。おめでとうございます。

### 協働の森づくり事業体験学習



11月11日、三菱UFJ信託銀行と高知県、町の3者で締結したパートナーズ協定活動の一環、「協働の森づくり事業体験学習」が行われ、立川番所で柚子絞り、もちつき、間伐材を使った工作をしました。

風が強く寒い日でしたが、立川体験交流の会の皆様のおもてなしに、心も体も温まりました。

### 第41回嶺北畜産能力共進会



11月11日、和牛改良の成果を競う第41回嶺北畜産能力共進会が開催されました。

本町からは経産の部と母系牛群の部で、久保内清さん（谷）の出品牛が最優秀賞を受賞しました。

おめでとうございます！

## まちのできごと

大豊町公式facebookにも、町のできごとが掲載されていますので、ご覧ください。

### みどりのサポーター活動



10月19日、ゆとりすとパークで「みどりのサポーター活動」が行われました。

これは NEXCO グループ会社が一丸となり自然環境の復元、維持に向け行っているものです。

今回は高松市のあすなろ保育園の年長さん約40人が、どんぐりの苗木をゆとりすとパーク敷地内に植樹しました。

この日は風が強く、たいへん寒かったのですが、子どもたちは寒さもへっちゃら！植え方を教えてもらいながら、自分たちで植樹し、自分で名前を書いた木の札を立てました。

大きく育ったらまた見に来てね！

### 日本農園元気いわはら村そば収穫



10月28日、「日本農園元気いわはら村」でそばの収穫が行われました。

「日本農園元気いわはら村」は、岩原地区にある休耕田を利用して「村民」の皆さんがそばや麦などを作っています。

毎年行っているそばの収穫に、今年は17人が参加し村民以外に近所の女性たちが大勢手伝ってくれ、楽しく作業ができました。

今年は例年になく大豊作だったようで、収穫したそばは、地区の高齢者を招いて、忘年会や新年会でふるまわれる予定だそうです。

### おおとよ「結い」プロジェクト



大豊町には古くから集落内で助け合う仕組み、結い（ユイまたはイイ）があります。

結いは決して特別なものではなく、全国各地にある日本の心ともいえるべきものです。

しかし大豊町では少子・高齢化により、結いや地域社会の維持にも支障が出始めています。

そこでプロジェクト推進室・おいでよおおとよプロジェクトでは地域外の方を迎えて結いを再活用した町づくりを推進しています。

第一弾として10月28日に「大杉しめ縄まつり」の作業補助に地域外の方を募集し3人の参加がありました。

今後も地域を見つめなおし、地域とともに、大豊町の伝統文化を残していきましょう。